

とは上記の他に、別の原因もあるものと推測される。因みに両試験池とも淡水と陸土による濁りの影響は最も強く受けるところにあり、これらの影響が考えられる。いずれの移植法においても定着率は4~8%で良くないが、あえて両者を比較すれば芝植えが株植えより良いようである。しかしいずれにしてもその生長は遅く、1m間隔の芝植えで、移植場所の海底が一面におおわれるようになるまでには少なくとも2ヶ年を要する。

3) 施肥試験

目的 アジモの根茎の生長について、これまでにみてきた刈り取り後の復元所要期間や、堀削池への移植経過等からその速さはあまり速くないことがわかつてき（昭和48・49年度報告）。そこで環境要因として制限されていると思われるものの中で肥料分の欠如を取り上げ、天然アジモ場においての施肥効果をみるため、下記の方法により施肥試験を行なった。試験地は恩納村屋嘉田潟原のアジモ場であり、底質は礫を含む砂質帶である。

方 法 肥料は鶏糞及びIB*を用い、施肥方法は数十ヶ所にピンホールをあけたビニール袋へ鶏糞1kg (N=2.5g)、IB 80g (N=2.5g) を別々に封入し、天然モ場の深さ約1.5cmに1袋/m²づつ施肥した（鶏糞区5点、IB区5点）。施肥後4ヶ月目の昭和50年10月に坪刈りを行ない生育量等を調べた。

結果 当アジモ場の優占種であるリュウキュウスガモとベニアマモについて生育量、葉体長、株数等を測定し、その結果を第3表に示した。この表からリュウキュウスガモとベニアマモの生育量について、無施用区との対比からその

第3表 施肥後の坪刈りの結果

	鶏糞区	IB窒素区	無施用区
リュウキュウスガモ	1m ² 当りの生育量 (湿重g) 93.1±15.8 (1.05)	2280 (1.11) 80.3±12.9 (0.91) 88.4±14.5	2520 (1.22) 2,060
ペニアマモ	1m ² 当りの株数 684 (1.37) 1株当りの草体湿重 (g) 3.33 (0.81)	764 (1.53) 3.30 (0.80) 500	4.12
ベニアマモ	1m ² 当りの生育量 (湿重g) 123.8±28.2 (1.05)	1,000 (1.41) 119.0±24.3 (1.01) 117.6±35.3	94.0 (1.33) 708
	1m ² 当りの株数 868 (1.40) 1株当りの草体湿量 (g) 1.15 (1.01)	920 (1.48) 1.02 (0.90) 620	1.14

() 内は無施用区に対する比率

分けた場合、両種とも鶏糞とIBそ

* 緩効性窒素肥料（三菱化成）

それぞれについて 1 株当たりの草体湿重は減り、株数の増が目だった。また、根基の伸長の様子をみるため以下の方法による実験を行なった。
広さ 100 cm × 50 cm 区画内のアジモを根基ごと除去し（4 区画 + 4 区画）、一方の 4 区画の中央部、深さ 1.5 cm に前述の I : B を入れ、周縁からの根基の伸長の様子を 1 ヶ月ごとに観察した。また施肥後 8 ヶ月目の昭和 51 年 2 月 17 日に施肥効果を見るため試験区 0.5 m² 内の生育草をすべて採取し、湿重量及び株数を計測した。

その結果、1月ごとの観察では施用区及び無施用区とも、その根茎はほぼ同様に漸時伸長する様子がみられ、その経過の一部を図版Ⅱに示した。因みに3ヶ月間での最大伸長は約50cmであった。坪刈りの結果は第4表に示した。

この表から①～⑩それぞれについて施用区の平均を無施用区のそれに比べると1.0～1.6倍の増分があった。しかし危険率5%では、試験区間の偏差が大きいこともあっていずれの間に有意な差はみられない。

第4表 施肥試驗結果

試験区	施用区					無施用区					
	I	II	III	IV	平均	V	VI	VII	VIII	平均	
0.5m ² 当たりの草体湿重量(g)	リュウキュウスガモ	49	39	37	25	37.5 (1.0)	36	65	20	24	36.3①
	ベニアマモ	85	73	141	75	93.5 (1.6)	32	89	45	73	59.8②
	合計 (アジモ類)	134	112	178	100	131.0 (1.36)	68	154	65	97	96.0⑤
0.5m ² 当たりの株数	リュウキュウスガモ	15	18	22	20	18.8 (1.3)	14	25	11	10	15.0③
	ベニアマモ	84	95	138	85	100.5 (1.6)	38	83	50	84	63.8④
	合計 (アジモ類)	99	113	160	105	119.3 (1.09)	52	108	61	94	78.8⑥

() 内は舞施工区に対する比率

分散分析結果

*① $F = 4.26 < F_{\alpha}(3.3 : 0.05) = 9.28$, $t = 0.11 < t_{\alpha}(6 : 0.05) = 2.45$

$$\textcircled{a} \quad F = 1.5 \quad 3 < " " " t = 1.6 \quad 3 < " "$$

$$\textcircled{v} \quad F = 1.44 < \frac{1}{\sqrt{2}} \quad t = 1.30 \quad "$$

$$\textcircled{2} \quad F = 5.26 < 7.0 \quad \text{at } t = 0.18$$

$$\textcircled{2} \quad F = 1.19 < 2.12 \quad t = 2.12$$

$$\textcircled{2} \quad F = 1.09 < \frac{1}{\sqrt{2}} \quad \text{and} \quad t = 3.09 > \frac{1}{\sqrt{2}}$$